

配 布 日 時	平成 2 1 年 1 0 月 9 日 1 5 時 0 0 分
------------	-----------------------------------

独立行政法人水資源機構日吉ダム管理所

資 料 配 布

件 名	^{ひよし} 日吉ダムの貯水量回復(台風18号)について ^{かつらがわ} - 桂川沿川の河川水位低減にも効果を発揮 -
-----	---

概 要	<p>独立行政法人 水資源機構 ^{ひよし} 日吉ダムでは、桂川流域の8月下旬からの少雨により貯水率が日々低下し、9月16日から放流制限、9月28日から取水制限等の湧水対策を実施してきましたが、台風18号の降雨でほぼ満水の状態まで回復しました。</p> <p>この降雨による出水で、約800万m³の流水を貯水池に貯め込み、洪水の調節を行ったことで、日吉ダムから約24km下流の桂川(^{かつらがわ} 亀岡観測所地点)の河川水位を約0.61m低下させたと推定されます。</p>
-----	--

取 扱 方 法	_____
---------	-------

同 時 配 布	京都府政記者室 南丹市政記者クラブ
---------	----------------------

問 合 せ 先	独立行政法人水資源機構日吉ダム管理所 所長代理 後藤 孝(ごとう たかし) 電話：0771-72-0171(代表)
---------	---

日吉ダムの貯水量回復(台風18号)について

- 桂川沿川の河川水位の低減に効果を発揮 -

水資源機構 日吉ダムでは、桂川流域の8月下旬からの少雨により貯水率が日々低下し、9月16日から放流制限、9月28日から取水制限等の渇水対策を実施してきましたが、台風18号の降雨でほぼ満水の状態まで回復しました。

日吉ダムでは京都府乙訓地域の2市1町及び阪神地区に水道用水を供給しています。

10月7日夜に近畿地方に上陸した台風18号は、近畿地方を含む広い範囲に大雨をもたらしました。淀川水系桂川の日吉ダム(京都府南丹市日吉町)上流域でも、10月7日8時から8日15時にかけて総雨量92mmを観測しました。

この降雨による出水で、約800万m³の流水を貯水池に貯め込むことにより、出水前の貯水率43.5%(10月7日8時)から93.5%(10月9日11時現在)まで回復しました。
(最低貯水率28.3%：9/30)

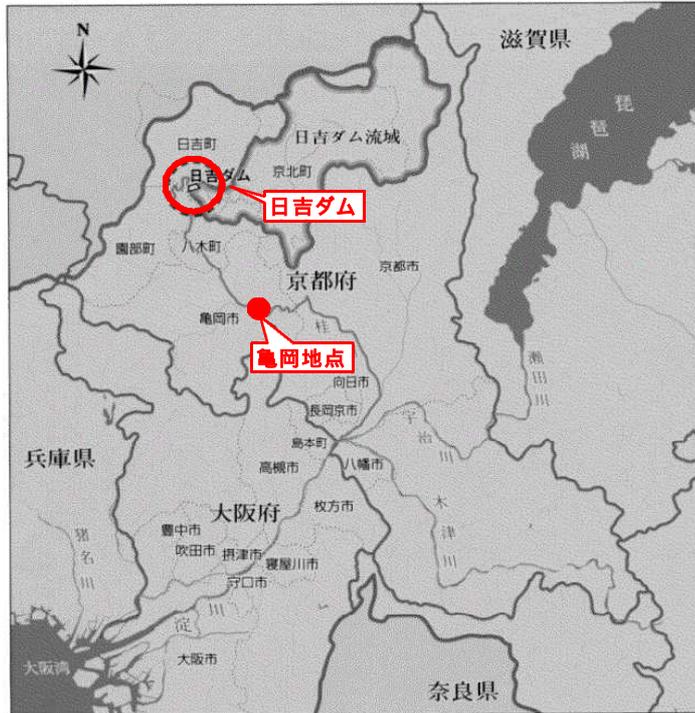
日吉ダムでは今回の貯水量の回復状況を鑑み、10月8日18時に日吉ダム渇水対策本部を解散しました。

また、下流の亀岡地点において試算すると、ダムが無かった場合には最高水位が2.16mとなりますが、ダムに流れ込む洪水の一部を貯水池に溜め込んだことにより0.61m(実際の最高水位1.55m：水防団待機水位は2.3m)の河川水位を低下させたことが推定されます。

なお、ダム貯水池状況等につきましては、ホームページ上(<http://www.water.go.jp/kansai/hiyoshi>)で公表しています。

日吉ダムでは、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダムの効果発現に努めて参ります。

■ 淀川水系と日吉ダム流域

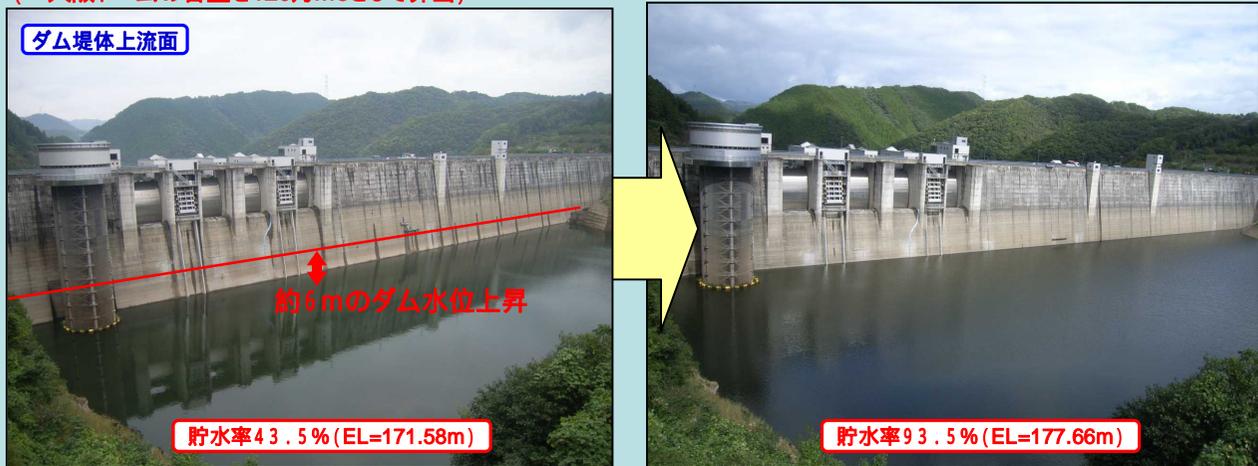


日吉ダムの貯水量が回復するとともに、河川水位の上昇を低減しました！

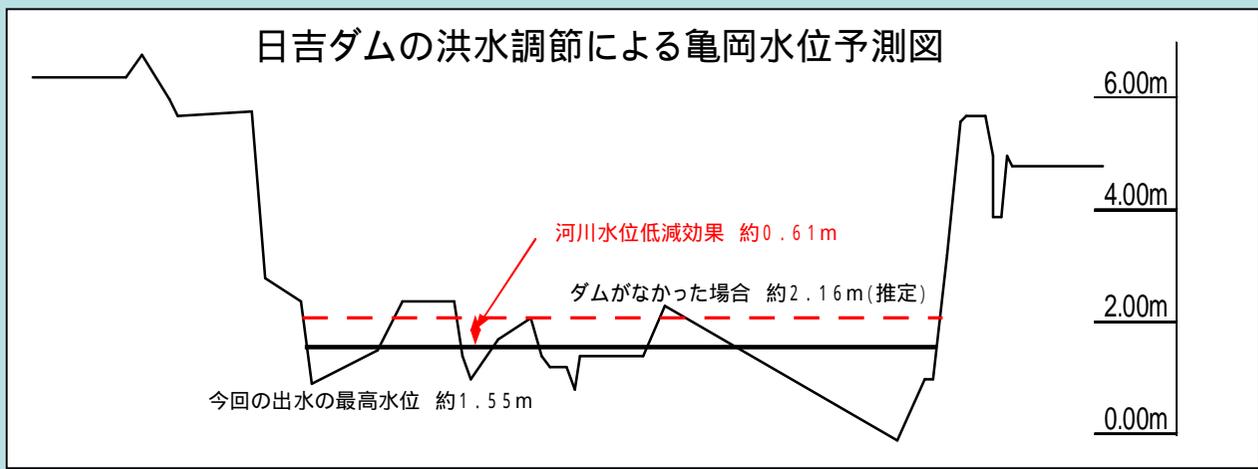
亀岡地域を流れる桂川は、10月7日からの台風18号の影響によって水量が増えました。これを上流の日吉ダムにため込み貯水量の回復を行った結果、桂川(亀岡地点)の水位上昇を約0.61m抑え河川水位の低減が図られました。



大阪ドーム 7杯分に相当する水を日吉ダムにため込み貯水量が回復しました。
(大阪ドームの容量を120万m³として算出)



また、少ない量を放流することで、下流亀岡地点の水位上昇を抑えました。



台風18号の降雨に伴う日吉ダム管理状況について

- ・平成10年4月管理以降、6回目の湧水対策を実施。【4番目の最低貯水位を記録】
- ・平成10年4月管理以降、14回目の洪水調節を実施。【大きい方から13番目の出水】

